

経営比較分析表（令和5年度決算）

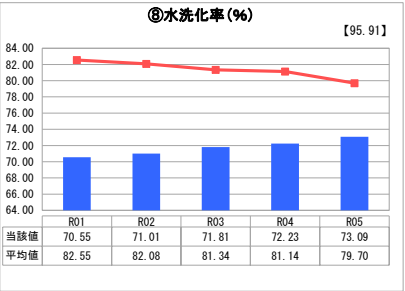
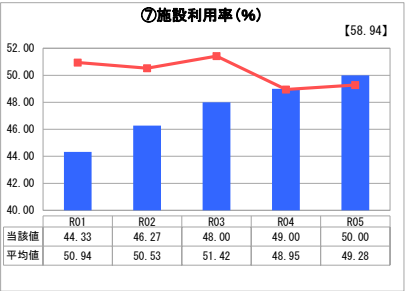
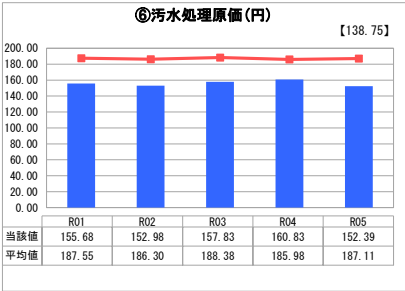
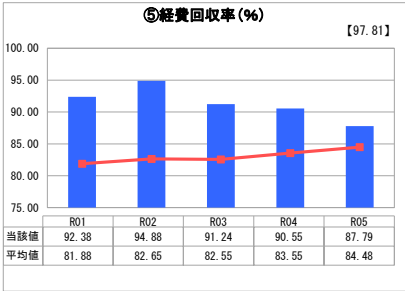
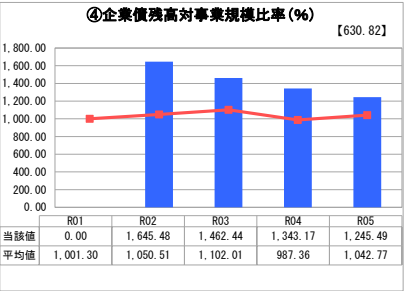
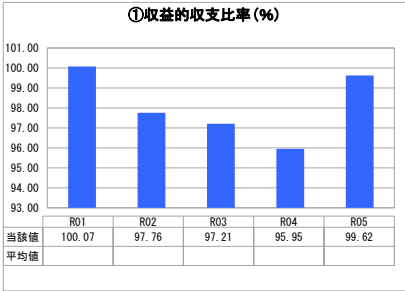
宮城県 串間市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	23.09	102.25	2,629

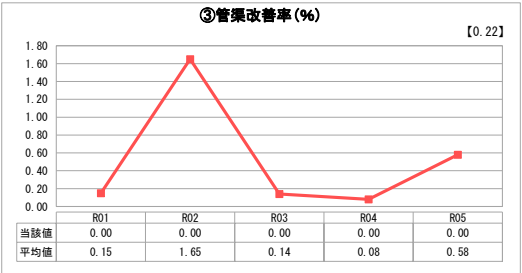
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,517	294.92	56.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,765	1.44	2,614.58

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①収益の収支比率」については、100%を下回っているため、公共下水道への加入促進を図ることに
より使用料の増加に努めながら費用を抑制し、
100%を常に超えるようにする必要があります。
「④企業債残高対事業規模比率」については、近年
大きな事業が無く企業債を発行していないため企業
債残高が減少していますが、今後の施設更新に備
え、計画的な運営を行っていく必要があります。
「⑤経費回収率」については、できる限り100%に
近づくように公共下水道への加入促進を図り、使用
料の増加に努めていく必要があります。
「⑥汚水処理原価」については、今後も効率的な汚
水処理に努めていきます。
「⑦施設利用率」「⑧水洗化率」については、水洗
化率は微増傾向にはありますが、類似団体や全国平
均に比べると低いため、今後も加入促進を図り、施
設の効率性を高めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

公共下水道は、平成16年に供用を開始し、平成26
年度まで汚水の管渠整備を進めてきました。
比較的新しい施設であるため、老朽化の状況につ
いては、現状では問題はありませんが、今後の施設
更新に備え、適切に資産管理を行っていく必要があ
ります。

全体総括

経営の健全化や、公共用水域の水質保全や快適で
文化的な生活環境確保の観点からも、公共下水道へ
の加入促進を図る必要があります。
現在のところ、汚水処理原価は低く抑えられてい
ますが、収益的収支比率、経費回収率が常に100%
以上となるよう、収益の確保と費用の抑制を図りな
がら、経営の健全化に努めていく必要があります。
施設の老朽化については、施設の長寿命化を図り
ながら、適切な資産管理を行っていく必要がありま
す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。